

J AM群馬シニアクラブ第 18 回定期総会

感染症対策をふまえ

縮小して総会を開催 新年度活動計画及び予算など確認

群馬シニアクラブ 通信員 鈴木英二

J AM群馬シニアクラブの第 18 回定期総会が 10 月 7 日、前橋市にある『群馬県勤労福祉センター』で開かれ、15 名が出席した。

当初は、例年行っている「ホテルラシーネ新前橋」の会場で研修会と意見交換会も含めて予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止を踏まえて、会場を同センターに変更して、総会のみで開催となった。

総会では菊池次郎会長が、「会員数の拡大へ、知人に呼びかけてもらいたい。年金・医療・介護保険など社会保険料の引き上げに反対していく。シニアとして国民運動、社会運動の取り組みを中心に活動を展開していきたい」と主催者を代表して挨拶した。

来賓挨拶では、J AM北関東群馬県連絡会の山村康郎会長から、「組合員との対話が組合活動の基本。シニアクラブと単組のつながりが弱くなっている。コミュニケーションを継続するために、現役とシニアクラブとの意見交換の場が必要だ」と述べた。

議事審議では、2020年度活動報告、会計報告、会計監査報告をそれぞれ承認するとともに、2021年度活動計画、予算を承認し閉会した。

